



第94回 全国高校野球 岩手大会 第6日

第94回全国高校野球選手権岩手大会第6日は13日、盛岡市の県営球場などで3回戦8試合を行った。久慈花北青雲は延長十五回戦で4-1で逆転したが、第72回大会の一関商工麻生二関延長十八回2-2以来、夏22年ぶりの引き分け再試合となった。

【関連記事26面】  
伊保内は2-1で盛岡商を下し、31年ぶりのベスト16入りを挙げた。第3シード花巻東は9-1の七回コールドで水沢工に大勝。大東は4-0で大迫を下した。

岩手勢は大船渡東が9-12の七回コールドで金ヶ崎を下し、大船渡は7-6で釜石商工に競り勝った。大来方は1-0で葛巻を寄せ、盛岡四は黒沢尻工の接戦を3-2で制し4回戦に駒を進めた。

当初予定した14日の休赛日に第7日を充て、県営球場で久慈花北青雲の再試合(午前10時開始予定)を行い、他の試合は実施しない。

第8日の15日は県営球場、花巻球場、森山総合公園球場(金ヶ崎町)の3会場で4回戦8試合を行い、ベスト8が決まる。

### きのこの勝敗

- ▽3回戦
- 【県営】
- 久慈 4-4 花北青雲 (延長十五回)
- 花巻東 9-1 水沢工 (七回コールド)
- 大東 4-0 大迫
- 花巻
- 伊保内 2-1 盛岡商
- 大船渡 9-12 金ヶ崎 (七回コールド)
- 東大船渡 7-6 釜石商
- 【森山】
- 不來方 1-0 葛巻
- 盛岡四 3-2 黒沢尻工

### きよつひの試合

- ▽8回戦
- 【県営】
- 久慈 1-1 花北青雲 (10時)

# 久慈、花北青雲譲らず

## 激闘、延長十五回

きよつひ再試合

◇県営球場▽3回戦

久慈	1	1	0	1	0	0	0	0	1
花北青雲	0	0	1	0	0	1	0	2	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	4

(延長十五回引き分け再試合)

【久】 菊地、城内一、崎広  
 【花】 晴山、大矢一、伊藤  
 ▽本塁打 佐藤直、伊藤(花)  
 ▽三塁打 北沢(久)  
 ▽二塁打 崎広2、高際、北沢2(久)久保田、堀岡2(花)

【評】 久慈、花北青雲は延長十五回を戦い、ともに譲らず引き分け再試合となった。花北青雲は1点を追う八回に1番佐藤直、主砲伊藤がソロ本塁打をたたき込み逆転。勝利まであと一歩だったのが、久慈が九回に北沢の左中間二塁打で同点に追い付いた。久慈は九回から城内、花北青雲は延長十回から主戦大矢が救援し無得点に抑えた。



久慈一花北青雲 9回裏久慈1死一、二塁、北沢が左中間適時二塁打を打ち4-4の同点とする＝県営

8回裏花北青雲2死、4-3と逆転する右越え本塁打を打ち、ホームインする伊藤。次打者堀岡(9)

### 久慈 執念の同点

追い込まれた久慈が士気  
 際で踏ん張った。好投の左腕菊地秀和(2年)が八回に本塁打の本を斬り3-4と劣勢に回った。完全な負けパターンだが、九回一死

年)の左中間二塁打で同点に追いついた。殊戦の背番号12は負ける気はしなかった。相手投手も勝負してくる場面、高め直球を振り抜いたと笑顔で語った。

投げたのは救援の城内将志(3年)が機巧的な投球で相手に流れを渡さなかった。九回からライニングをおよそ3安打に抑え、決まりきった得点できない回も多かったが、気持ちよく送り最後まで味方を信じて投げたと充実感に満ちた。

七回まで毎回得点圏に走者を進める「ポテトプロ」で打ち続け、延長後も好機をつくった。あと一打が出れば勝った試合に君ヶ洞朝監督は「ミスミス勝とうなど考えてもいない。城内がよく投げ、再試合で助かった。相手がいずれも素晴らしい戦いだらうと、延長十五回の激闘をたたえた。(村上)

### 花北 主戦が粘投

花北青雲は延長十回からマウンドに上がった主戦大矢明(3年)が再三のピンチをしのぎ再試合に持ち込んだ。十回、十一回、十三回といずれも三塁に走者を背負ったが、球威のある直球と切れ味鋭い変化球で後続を断った。

打線は八回にアーマー本で底力を見せた。2-3の劣勢から1番佐藤直人(3年)が「初球の甘い球だった。この回に決めろぞ」と思っただ打席。次につなぐ意識だったと語った打球は左翼へ飛び込む同点ロ。さらに主砲伊藤大樹(3年)が打った

瞬間に決ったと思ったとる念の走り。逆転の石ノロで4-3と試合をひっくり返した。

勢いに乗りかかったが、回に同点されて、打線は速。延長十五回の死闘を終えた沢田清永監督は「まさ勝は終わっていない」と選手を鼓舞した。

現行制度の延長十五回打ち切りとなってからは初の引き分け再試合。伊藤は「苦しい試合になると思うが、チームで金で勝りたい」と気合をこめ直した。

岩手日報 平成24年7月14日 朝刊

※この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています